

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	青少年交流推進事業	担当部局庁	スポーツ・青少年局	作成責任者	参事官 (青少年健全育成担当) 勝山浩司		
事業開始・終了 (予定)年度	平成14年度	担当課室	参事官(青少年健全育成担当)				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ-3. 青少年の健全育成				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計画、 通知等	「日独青少年交流の強化についての共同発表」(平成9年6月20日)、「日韓共同未来プロジェクト」(平成14年7月1日)、「子ども・若者ビジョン」(平成22年7月23日子ども・若者育成支援推進本部)、新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	国際化が進展する中、青少年自らが国際社会の一員であることを自覚し、自分とは異なる文化や歴史に立脚する人々と共生していくことが重要な課題となっているため、青少年に対し、国内外の様々な人々との交流の機会を提供する事業を実施する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>国内外の青少年指導者及び次代を担う青年リーダー、高校生の海外派遣・日本招へいを行い、国内外の青少年の現状や問題点等についての意見交換や、青少年育成活動、施設等の現地調査を行うなどの研修を伴った相互交流事業を実施する。</p> <p>また、東アジアを中心とした海外の青少年を日本に招き、青少年教育施設における日本の青少年との交流を行うとともに、地域の特性を生かし、関係機関と連携して自然体験・スポーツ体験・文化体験等の機会を提供する。プログラムの企画立案、運営は、委託先の青少年教育施設等の職員の他、地元住民や学生、留学生等多様な主体によって構成される企画運営委員会が中心となって行う。</p> <p>A. 【日独青少年指導者セミナー(受入)/(派遣)】 相互交流や研究協議、意見交換等を通して両国の理解と親善を深め信頼関係を構築するため、「生きる力を育む一低年齢児童の支援制度と方法」「生きる力を育む一困難を抱える青少年の社会性を育むための支援」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。</p> <p>B. 【日独青少年指導者セミナー(スポーツ分野)】 スポーツ施設等それぞれの教育施設の視察と関係者との協議を通じて相互理解を図るため、「子どもの健康」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。</p> <p>C. 【日独青少年指導者セミナー(芸術分野)受入及び派遣事業】 相互交流や研究協議、意見交換等を通して両国の理解と親善を深め信頼関係を構築するため、「学校内外における美術教育」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。</p> <p>D. 【日独勤労青年交流事業】 4つの分野(サービス・金融、行政、福祉、製造業)についての就業体験等の研修や交流を通じて、両国の理解と友好を深め、国際的視野に立った有為な青年の育成と両国間における青年交流の発展を図るため、「社会の一員として働くことの意義」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。</p> <p>E. 【日独学生青年リーダー交流事業】 青少年団体等でリーダーとして活動する学生・青年等が、文化体験、意見交換、機関や団体で体験活動等を行うことにより、青年リーダーとしての資質を高めるとともに、日独の相互理解と交流の発展を図るため、「若者の社会への参画」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。</p> <p>F. 【日米スカウト交歓計画(アメリカスカウト招聘)事業】 国際的で伝統あるスカウト運動の特性を生かし、21世紀の日米の協力関係をさらに堅固なものにするため、両国の明日を担う青少年の交流を通じ、国際的視野を持った青少年の育成のため、アメリカ合衆国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。</p> <p>G. 【UKガイド交流事業】 日英の青少年が、交流を通して自国の文化や暮らしを再認識し、プログラムを体験しながら視野を広げ、より多様な価値を認め合うための機会とする。また、青少年が抱える共通課題への取組を探り、社会に役立つ市民としての学習を積む。これらを通じ、責任ある世界市民としての資質や能力を育み、次世代社会のリーダー養成と国際的視野を持った青少年の育成をするため、英国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。</p> <p>H. 【日韓高校生交流事業(受入)/(派遣)】 日本と韓国の青少年の相互交流を通して、両国の相互理解と親善を深め、日韓間の青少年交流の発展やパートナーシップの育成を図るため、大韓民国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	69.9	70.2	68.0	138.7	122.2
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	69.9	70.2	68.0	138.7	122.2
執行額	63.2	58.7	62.2				
執行率(%)	90.4%	83.6%	91.5%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	従来の「青少年交流推進事業」に加え、平成23年度から新たに東アジアを中心とした海外の青少年を日本に招き、日本の青少年との交流を行う「青少年教育施設を活用した交流事業」を実施するため、今後新たに「事業に参加し交流を行った日本の青少年の前年度比増加率」等を定め、成果実績を測っていく。		成果実績	%	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	

活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	本事業における日本国内への招へい者数及び国外への派遣者数。	A. 活動実績(当初見込み)	人	<招へい> 18	<招へい> 18	<招へい> 18 (18)	<招へい> — (14)
				<派遣> 17	<派遣> 18	<派遣> 18 (18)	<派遣> — (18)
		B. 活動実績(当初見込み)	人	<招へい> 6	—	<招へい> 6 (6)	—
				<派遣> 6	—	<派遣> 4 (6)	—
		C. 活動実績(当初見込み)	人	<招へい> 7	<招へい> 7	<招へい> 7 (7)	<招へい> — (7)
				<派遣> 7	<派遣> 7	<派遣> 7 (7)	<派遣> — (7)
		D. 活動実績(当初見込み)	人	<招へい> 23	<招へい> 23	<招へい> 23 (23)	<招へい> — (23)
				<派遣> 16	<派遣> 20	<派遣> 20 (20)	<派遣> — (20)
		E. 活動実績(当初見込み)	人	<招へい> 17	<招へい> 17	<招へい> 17 (17)	<招へい> — (17)
				<派遣> 18	<派遣> 20	<派遣> 20 (20)	<派遣> — (20)
F. 活動実績(当初見込み)	人	<招へい> 39	<招へい> 39	<招へい> 34 (40)	—		
G. 活動実績(当初見込み)	人	<招へい> 20	<招へい> 18	<招へい> 17 (20)	—		
H. 活動実績(当初見込み)	人	<招へい> 60	<招へい> 57	<招へい> 60 (60)	<招へい> — (60)		
		<派遣> 62	<派遣> 56	<派遣> 60 (60)	<派遣> — (60)		
A. 単位当たりコスト	243, 825(円/人)	算出根拠	招へい者及び派遣者1人当たりコスト(平成22年度) X/Y=243, 825円 X: 8, 777, 682円(青少年交流推進事業執行額) Y: 36人=18人(招へい者)+18人(派遣者)				
B. 単位当たりコスト	386, 419(円/人)	算出根拠	招へい者及び派遣者1人当たりコスト(平成22年度) X/Y=386, 419円 X: 3, 864, 185円(青少年交流推進事業執行額) Y: 10人=6人(招へい者)+4人(派遣者)				
C. 単位当たりコスト	233, 119(円/人)	算出根拠	招へい者及び派遣者1人当たりコスト(平成22年度) X/Y=233, 119円 X: 3, 263, 668円(青少年交流推進事業執行額) Y: 14人=7人(招へい者)+7人(派遣者)				
D. 単位当たりコスト	221, 924(円/人)	算出根拠	招へい者及び派遣者1人当たりコスト(平成22年度) X/Y=221, 924円 X: 9, 542, 712円(青少年交流推進事業執行額) Y: 43人=23人(招へい者)+20人(派遣者)				
E. 単位当たりコスト	237, 030(円/人)	算出根拠	招へい者及び派遣者1人当たりコスト(平成22年度) X/Y=237, 030円 X: 8, 770, 103円(青少年交流推進事業執行額) Y: 37人=17人(招へい者)+20人(派遣者)				
F. 単位当たりコスト	361, 964(円/人)	算出根拠	招へい者1人当たりコスト(平成22年度) X/Y=361, 964円 X: 12, 306, 778円(青少年交流推進事業執行額) Y: 34人(招へい者)				
G. 単位当たりコスト	258, 824(円/人)	算出根拠	招へい者1人当たりコスト(平成22年度) X/Y=258, 824円 X: 4, 400, 000円(青少年交流推進事業執行額) Y: 17人(招へい者)				
H. 単位当たりコスト	71, 818(円/人)	算出根拠	招へい者及び派遣者1人当たりコスト(平成22年度) X/Y=71, 818円 X: 8, 618, 123円(青少年交流推進事業執行額) Y: 120人=60人(招へい者)+60人(派遣者)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0. 8百万	0. 5百万				
	職員旅費	4. 1百万	4百万				
	委員等旅費	0. 2百万	0. 1百万				
	庁費	0. 2百万	0. 2百万				
	初等中等教育等振興事業委託費	133. 4百万	117. 4百万				
	計	138. 7百万	122. 2百万				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施現場への視察や担当者へのヒアリングを実施するなど、適切な事業実施がなされているか確認を行っている。 ・事業完了後には事業の報告書類や支出を証明する書類の提出を求め、適切な執行がなされているかを検査している。 ・事業実施期間中は事業の成果報告を行う評価会等に同席し、事業参加者らから得た意見等を次年度以降の事業に反映させるよう努めている。今後も必要に応じて見直しを行う。 ・事業参加者が他の国際交流事業に協力したりするなど、社会への波及的な成果がみられている。派遣者の選定にあたっては、受益者として参加金を徴収しているが、定員を超える応募があるなどニーズがある。 ・平成23年度から「日米スカウト交歓計画(アメリカスカウト招聘)事業」及び「UKガイド交流事業」を廃止し、コストの削減に努めている。 ・本事業は、「日独青少年交流の強化についての共同発表」(平成9年6月20日)、「日韓共同未来プロジェクト」(平成14年7月1日)等、両国首脳が青少年の交流を図っていくことを合意したものであり、国が実施すべき事業である。 ・平成23年度から新たに、事業の成果等について、ホームページなどを活用して広く国民から意見を受け付けるなど、より多くの人に活用されるよう努めるべきである。また、従来から、招へい者が日本に滞在している間、各地で日本人と交流を行ってきたが、その様子がより伝わるよう工夫を行うべきである。平成24年度からは、日本における国際交流プログラムにおいて、リーダーシップを発揮した日本人を海外へ派遣するなど、リーダー養成及び相互交流の発展的な関係の構築を築いていくべきである。 	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>1. 事業評価の観点：この事業は、国際交流を通じ、我が国及び各国における青少年の現状や問題点等についての意見交換、青少年育成活動及び施設等の現地調査などの研修を伴った相互交流事業を実施し、相互理解と交流の発展を図ることを目的とした事業であり、事業の効果や事業開始から10年以上経過していることから長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：①この事業は長期継続事業であり、平成23年度においてメニューの一部廃止をするなど、適時見直しを図っている。平成24年度概算要求においても、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト縮減等に努めるべきである。</p> <p>②平成23年度において一部改善が見られるものの、契約に1者応募が多いことから、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		<p>契約にあたっては公募期間を現行の中25日間から30日間に延長するなど、さらなる競争性の確保を図るとともに、当該事業の平成22年度の執行実績を踏まえ、旅費単価の見直し等を行い、概算要求に▲29.283百万円反映した。</p>	
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省
62.2百万円

外国旅費 1.6百万円
その他(庁費、諸謝金、
職員旅費、委員等旅費) 1.0百万円 } を含む

学識経験者、青少年団体関係者等で構成される企画評価委員会を設置し、委託事業の採択をはじめ本事業の推進方策等を検討する。

【公募・委託】 【公募・委託】 【公募・委託】 【公募・委託】 【公募・委託】 【公募・委託】 【公募・委託】 【公募・委託】

A. 独立行政法人国立青少年教育振興機構 8.8百万円	B. 財団法人日本体育協会 3.9百万円	C. 独立行政法人日本芸術文化振興会 3.3百万円	D. 独立行政法人国立青少年教育振興機構 9.5百万円	E. 独立行政法人国立青少年教育振興機構 8.8百万円	F. 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 12.3百万円	G. 社団法人ガールスカウト日本連盟 4.4百万円	H. 独立行政法人国立青少年教育振興機構 8.6百万円
--------------------------------	-------------------------	------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	------------------------------	--------------------------------

【日独青少年指導者セミナー(受入)/ (派遣)】 相互交流協議、研究、意見交換等を通して親善を構築するため、「生きる力」を育む児童の支援に関する社会性、ドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。

【日独青少年指導者セミナー(スポーツ分野)】 スポーツ施設等それぞれの教育施設との視察と関係者との協議を通じて相互理解を図るため、「子どもの健康」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。

【日独青少年指導者セミナー(芸術分野)受入及び派遣事業】 相互交流協議、意見交換等を通して両国の理解と親善を構築するため、「学校内外における美術教育」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。

【日独勤労青年交流事業】 4つの分野(サービス・金融、行政、福祉、製造業)についての就業体験等の研修や交流を通じて、両国の理解と友好関係を深め、国際的視野に立った有為な青年の育成と両国間における青年交流の発展を図るため、「社会の一員としての働くことの意味」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。

【日独学生青年リーダー交流事業】 青少年団体等での活動する学生・青年等が、文化体験、意見交換、機関や団体で体験活動等を行うことにより、青年リーダーとしての資質を高めるとともに、日独の相互理解と交流の発展を図るため、「若者の社会への参画」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。

【日米スカウト交歓計画(アメリカスカウト招聘)事業】 国際的に伝統あるスカウト運動の特性を生かし、21世紀の日米の協力関係をさらに堅固なものにするため、両国の明日を担う青少年の交流を通じ、国際的視野を持った青少年の育成のため、アメリカ合衆国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。

【UKガイド交流事業】 日英の青少年が、交流を通して自国の文化や暮らしを再認識し、プログラムを体験しながら視野を広げ、より多様な価値を認め合うための機会とする。また、青少年が抱える共通課題への取組を探り、社会に役立つ市民としての学習を積む。これらを通じ、責任ある世界市民としての資質を育み、次世代社会のリーダー養成と国際的視野を持った青少年の育成をするため、英国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。

【日韓高校生交流事業(受入)/(派遣)】 日本と韓国の青少年の相互交流を通して、両国の相互理解と親善を深め、日韓間の青少年交流の発展やパートナーシップの育成を図るため、大韓民国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

費目・使途
 「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.独立行政法人国立青少年教育振興機構 【日独青少年指導者セミナー(受入)/(派遣)】			E.独立行政法人国立青少年教育振興機構 【日独学生青年リーダー交流事業】		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	渡航費、移動費用等	3.8	旅費	渡航費、移動費用等	5.8
諸謝金	講義謝金、通訳・翻訳謝金等	2.4	諸謝金	講義謝金、通訳・翻訳謝金等	1.3
借料及び損料	バス借料、会場借料等	0.9	一般管理費	一般管理費	0.8
一般管理費	一般管理費	0.8	借料及び損料	バス借料、会場借料	0.5
印刷製本費	報告書印刷費、募集要項印刷費等	0.4	印刷製本費	報告書印刷費、リーフレット印刷費等	0.2
通信運搬費	資料発送費、海外通話料等	0.3	雑役務費	伝統芸能体験料等	0.1
その他	消耗品費、雑役務費、会議費	0.2	その他	消耗品費、会議費、通信運搬費	0.1
計		8.8	計		8.8
B.財団法人日本体育協会 【日独青少年指導者セミナー(スポーツ分野)】			F.公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 【日米スカウト交歓計画(アメリカスカウト招聘)事業】		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	渡航費、移動費用等	2.3	旅費	渡航費、移動費用等	8.0
諸謝金	通訳・翻訳謝金、講演謝金等	0.6	借料及び損料	バス借料、会場借料、通訳機借料	1.3
借料及び損料	バス借料、会場借料	0.6	一般管理費	一般管理費	1.1
一般管理費	一般管理費	0.3	雑役務費	英語ガイド費、インストラクター経費、振込手数料等	0.7
その他	印刷製本費、保険料、通信運搬費、会議費	0.1	印刷製本費	報告書印刷費等	0.4
			諸謝金	ホームステイ謝金、講演謝金	0.3
			消耗品費	ファイル、名札ケース、参加章等	0.2
			保険料	国内旅行保険(招へい者)	0.2
			通信運搬費	切手購入代	0.1
計		3.9	計		12.3
C.独立行政法人日本芸術文化振興会 【日独青少年指導者セミナー(芸術分野)受入及び派遣事業】			G.社団法人カールスカウト日本連盟 【UKガイド交流事業】		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	渡航費、移動費用等	1.9	旅費	渡航費、移動費用等	3.0
諸謝金	通訳・翻訳謝金、講演謝金等	0.7	印刷製本費	報告書印刷費	0.7
印刷製本費	報告書印刷費、募集要項印刷費	0.3	一般管理費	一般管理費	0.4
一般管理費	一般管理費	0.2	借料及び損料	バス借料	0.2
その他	通信運搬費、保険料、消耗品費、会議費、借料及び損料	0.2	その他	保険料、通信運搬費、消耗品費	0.1
計		3.3	計		4.4
D.独立行政法人国立青少年教育振興機構 【日独勤労青年交流事業】			H.独立行政法人国立青少年教育振興機構 【日韓高校生交流事業(受入)/(派遣)】		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	渡航費、移動費用等	5.7	旅費	渡航費、移動費用等	5.1
諸謝金	講義謝金、通訳・翻訳謝金等	2.0	諸謝金	講義謝金、通訳・翻訳謝金等	1.7
一般管理費	一般管理費	0.8	一般管理費	一般管理費	0.8
借料及び損料	バス借料、会場借料	0.8	借料及び損料	バス借料、会場借料	0.7
印刷製本費	報告書印刷費、リーフレット印刷費等	0.1	印刷製本費	報告書印刷費等	0.2
その他	消耗品費、会議費、通信運搬費、雑役務費	0.1	その他	雑役務費、消耗品費、通信運搬費、保険料、会議費	0.1
計		9.5	計		8.6

支出先上位10者リスト

A. 【日独青少年指導者セミナー(受入)/(派遣)】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立青少年教育振興機構	【日独青少年指導者セミナー(受入)/(派遣)】 相互交流や研究協議、意見交換等を通して両国の理解と親善を深め信頼関係を構築するため、「生きる力を育む一低年齢児童の支援制度と方法」「生きる力を育む一困難を抱える青少年の社会性を育むための支援」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。	8.8	企画競争	—

B. 【日独青少年指導者セミナー(スポーツ分野)】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人日本体育協会	【日独青少年指導者セミナー(スポーツ分野)】 スポーツ施設等それぞれの教育施設の視察と関係者との協議を通じて相互理解を図るため、「子どもの健康」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。	3.9	企画競争	—

C. 【日独青少年指導者セミナー(芸術分野)受入及び派遣事業】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人日本芸術文化振興会	【日独青少年指導者セミナー(芸術分野)受入及び派遣事業】 相互交流や研究協議、意見交換等を通して両国の理解と親善を深め信頼関係を構築するため、「学校内外における美術教育」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。	3.3	企画競争	—

D. 【日独勤労青年交流事業】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立青少年教育振興機構	【日独勤労青年交流事業】 4つの分野(サービス・金融、行政、福祉、製造業)についての就業体験等の研修や交流を通じて、両国の理解と友好を深め、国際的視野に立った有為な青年の育成と両国間における青年交流の発展を図るため、「社会の一員として働くことの意義」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。	9.5	企画競争	—

E. 【日独学生青年リーダー交流事業】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立青少年教育振興機構	【日独学生青年リーダー交流事業】 青少年団体等でリーダーとして活動する学生・青年等が、文化体験、意見交換、機関や団体で体験活動等を行うことにより、青年リーダーとしての資質を高めるとともに、日独の相互理解と交流の発展を図るため、「若者の社会への参画」についてドイツ連邦共和国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。	8.8	企画競争	—

F. 【日米スカウト交歓計画(アメリカスカウト招聘)事業】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人ボーイスカウト日本連盟	【日米スカウト交歓計画(アメリカスカウト招聘)事業】 国際的で伝統あるスカウト運動の特性を生かし、21世紀の日米の協力関係をさらに堅固なものにするため、両国の明日を担う青少年の交流を通じ、国際的視野を持った青少年の育成のため、アメリカ合衆国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。	12.3	企画競争	—

G. 【UKガイド交流事業】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人ガールスカウト日本連盟	【UKガイド交流事業】 日英の青少年が、交流を通して自国の文化や暮らしを再認識し、プログラムを体験しながら視野を広げ、より多様な価値を認め合うための機会とする。また、青少年が抱える共通課題への取組を探り、社会に役立つ市民としての学習を積む。これらを通じ、責任ある世界市民としての資質や能力を育み、次世代社会のリーダー養成と国際的視野を持った青少年の育成をするため、英国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。	4.4	企画競争	—

H. 【日韓高校生交流事業(受入)/(派遣)】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立青少年教育振興機構	【日韓高校生交流事業(受入)/(派遣)】 日本と韓国の青少年の相互交流を通して、両国の相互理解と親善を深め、日韓間の青少年交流の発展やパートナーシップの育成を図るため、大韓民国の実施団体と連絡・調整し、事業を実施。	8.6	企画競争	—